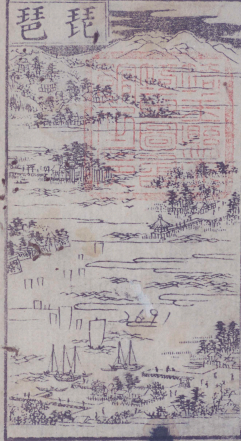




湖風景



琵琶



東海  
木曾  
兩道  
中懷  
寶圖  
鑑



凡例

一此両道中記上乃方に東海道と寫し下の方不  
 本曾路と寫しと何道のたを仍うを本室と以  
 一紙を枝の面と一宿と宜く是とあるを  
 一東海乃上りと順に記し本室下りと順に記し  
 乃東海乃と下るとは奥より遂に下ると是に  
 本室路も是に准してよるべし  
 一中記に保勢路を介す文不略果ありとも

奥より出りの六具(車)六具(身)安らむるん

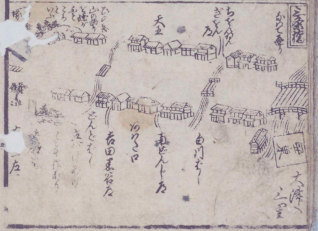
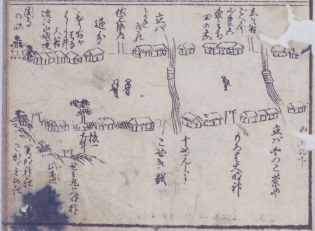
目録

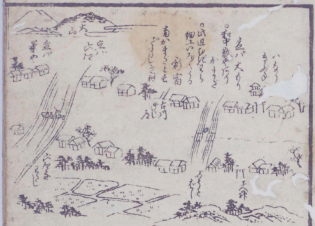
中仙道 辛子 赤宮道 辛子 瀬 念 六丁

箱根湯 辛子 若光寺 辛子 秋 系 北七丁

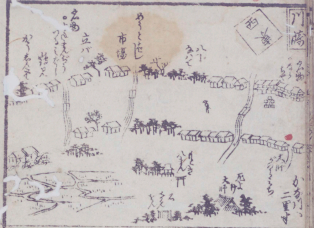
本坂 辛子 佐屋廻 辛子 日 光 六丁

名古屋 辛子 大津 辛子 大坂 辛子





川崎



茶店



西

守

守

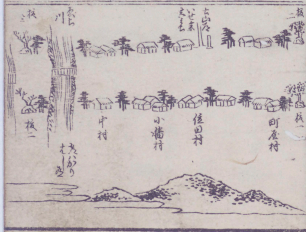
深の月も湯  
てお世の何  
て十二天の  
りる



至







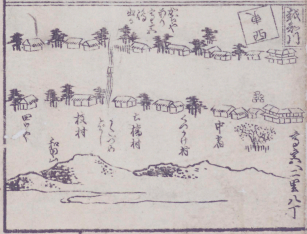




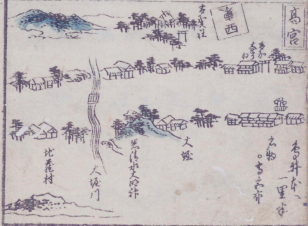
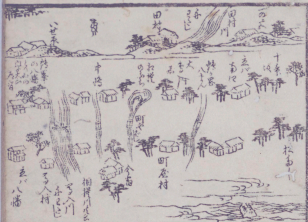
山斗の溪

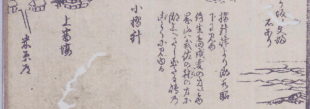
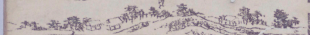


十里丁



十里八丁





末天乃

上雷場

小櫻井

下り坂、又路  
石あり

櫻井井よりぬち取  
下り乃也  
養生を成すの力にあ  
るは、此の井の井の力不  
動と云ふべきなり  
わく、小見也。



平塚

田舎

六八七  
北六丁

寺井

七八八一里六丁

以不不  
多々の  
井者  
中々  
名大

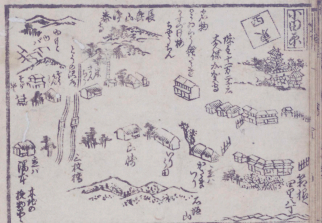
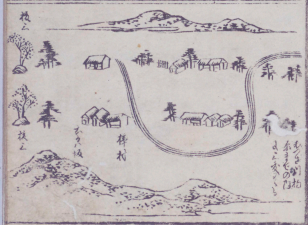
小園乃  
中天倉

村生者

行徳

持井  
印



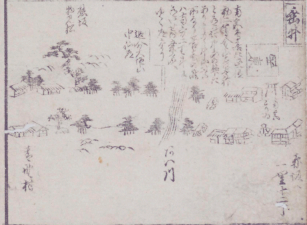
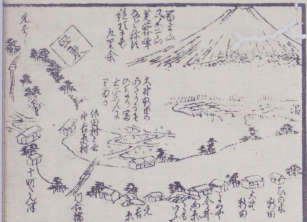








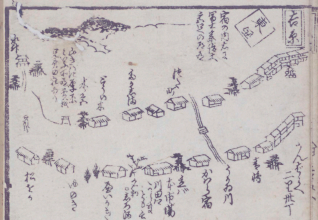


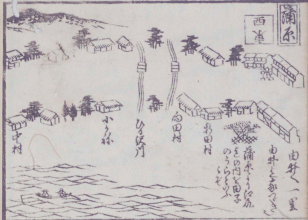
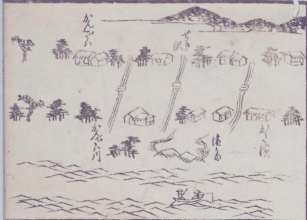


山根

山根

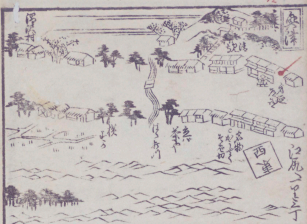
山根











冷水  
又  
又



冷水

南中二里  
北七丁

冷水

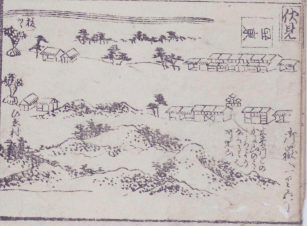
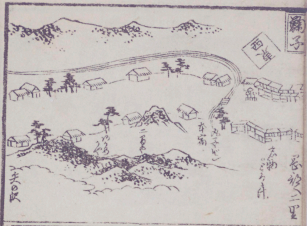
北田二里

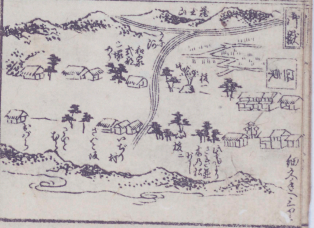


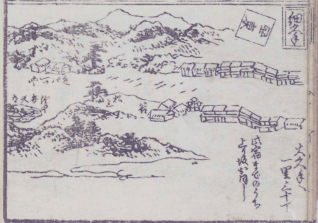
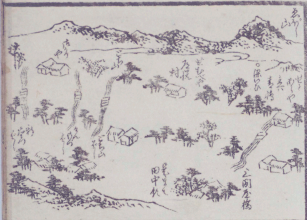
舟中

大田

伏見

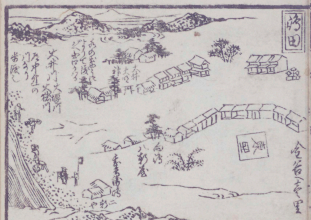
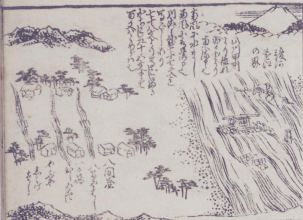








竹  
五

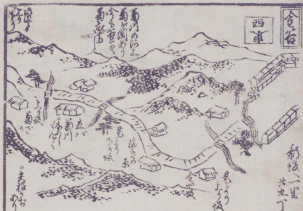


竹田

合  
谷  
三  
里

大  
大  
子

大  
井  
三  
里





一里五丁  
 新坂  
 掛川  
 新坂  
 掛川



新坂  
 掛川  
 新坂  
 掛川  
 新坂  
 掛川

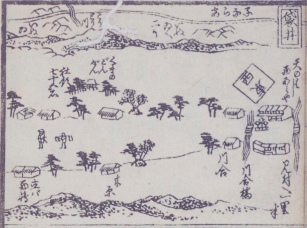
新坂

掛川一里五丁

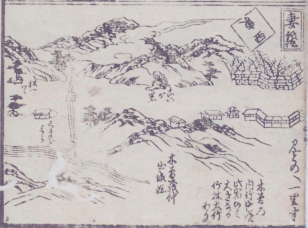
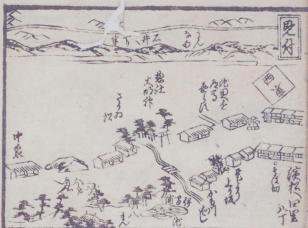
新坂

掛川一里五丁









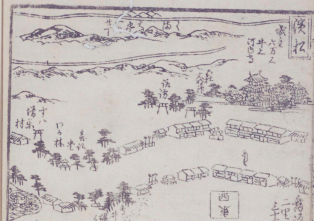
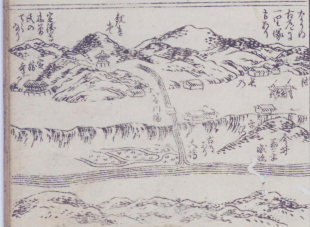
大谷

妻籠

冬の一里寺





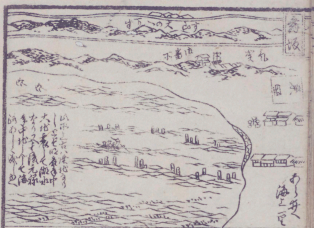




室津の舟物船  
 舟の海賊を  
 舟の舟物船



室津の舟物船  
 舟の海賊を  
 舟の舟物船



室津の舟物船  
 舟の海賊を  
 舟の舟物船

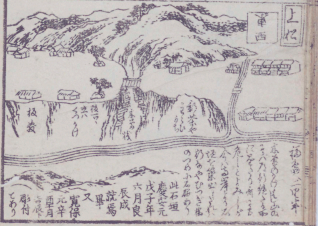
室津

室津



室津

室津



荒井

田海

白河  
山王  
山王  
山王  
山王  
山王

上北

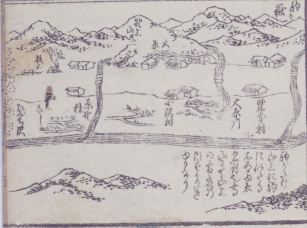
軍西

山王  
山王  
山王  
山王  
山王  
山王

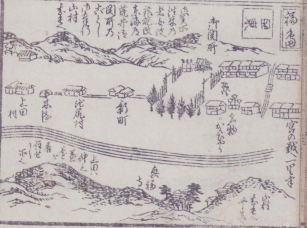
山王  
山王  
山王  
山王  
山王  
山王



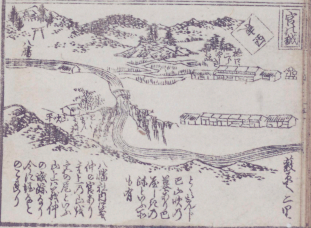
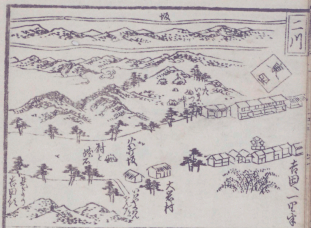
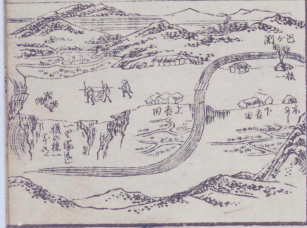
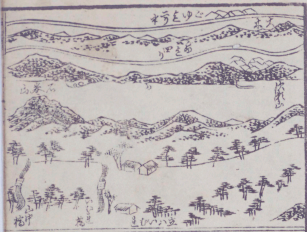
大木川  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前



物  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前



福  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前  
 此の河は  
 二月廿七日  
 至御前



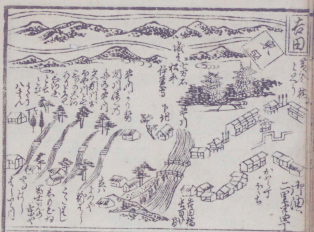




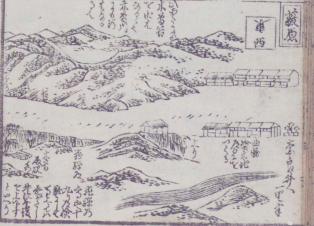
小波村  
 小波村人  
 住居甚多  
 寺あり  
 築屋可  
 良田多  
 水あり  
 山あり  
 石あり  
 八枚橋  
 小田園橋  
 園あり  
 池あり



石田村  
 石田村人  
 住居甚多  
 寺あり  
 築屋可  
 良田多  
 水あり  
 山あり  
 石あり  
 時を下り  
 下り



石田  
 石田村  
 石田村人  
 住居甚多  
 寺あり  
 築屋可  
 良田多  
 水あり  
 山あり  
 石あり  
 二重



石田  
 石田村  
 石田村人  
 住居甚多  
 寺あり  
 築屋可  
 良田多  
 水あり  
 山あり  
 石あり

長崎の南に  
 大船の浦と  
 七つてある  
 山は城を築  
 いて城を築  
 いて城を築  
 山の上には  
 大船の浦と  
 七つてある  
 山は城を築  
 いて城を築  
 いて城を築



中野

四六

青田茶屋は  
 長崎の南に  
 大船の浦と  
 七つてある  
 山は城を築  
 いて城を築  
 いて城を築



長崎の南に  
 大船の浦と  
 七つてある  
 山は城を築  
 いて城を築  
 いて城を築

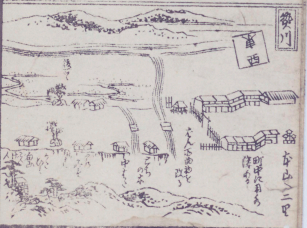
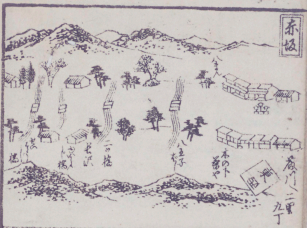
社の傍に

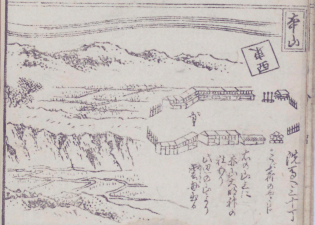
東西

茶屋



長崎の南に  
 大船の浦と  
 七つてある  
 山は城を築  
 いて城を築  
 いて城を築

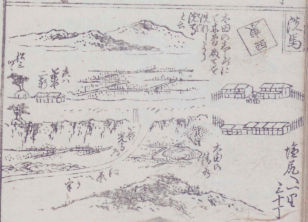


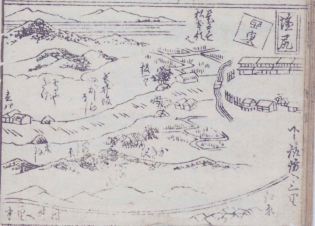


大谷

大谷

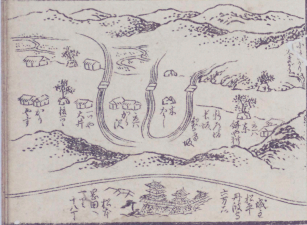
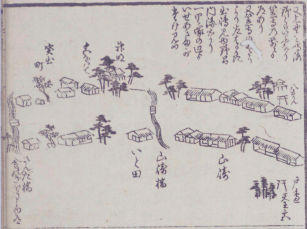
大谷

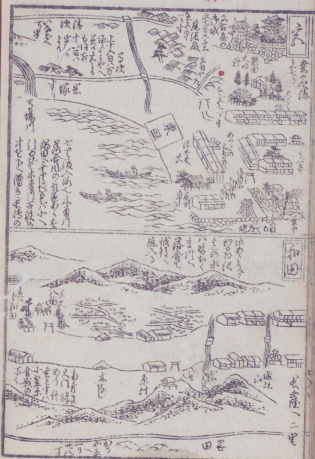


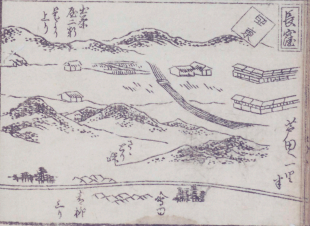




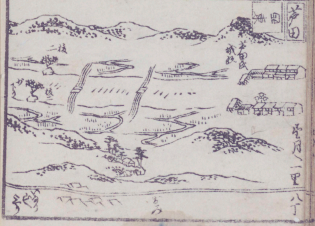
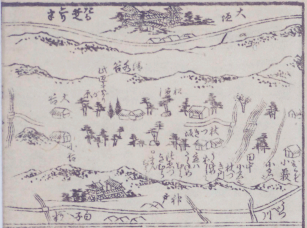
又下等土産  
 所のりやう  
 望まらざる  
 方なり  
 又高き山々  
 あり左も右  
 出づれば丹波  
 口海あり  
 一甲の田あり  
 いせの田あり  
 まつりあり

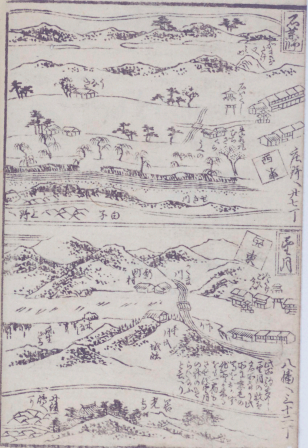






Vertical text on the right side of the pages, including labels like '長瀬' (Nagase) and '菅田' (Sugata).



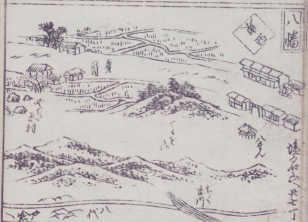
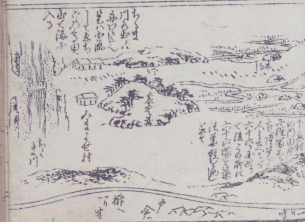
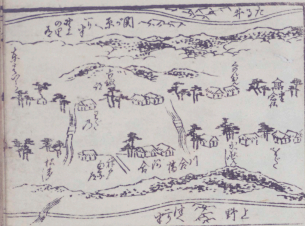


石巻

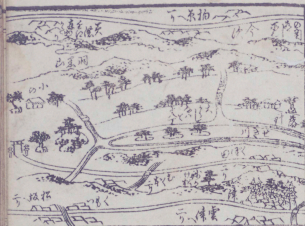
石巻  
西  
舟

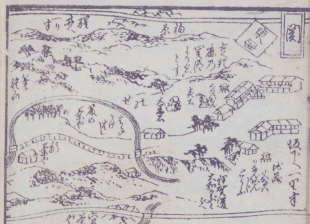
石巻

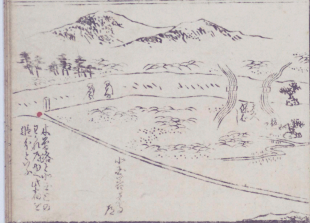
八橋



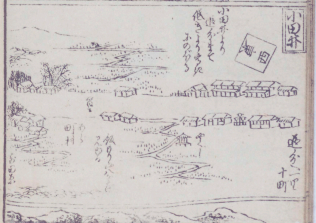








天竺



通分一町



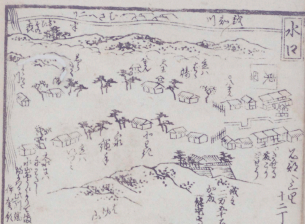
山

退分

尚書

退分内記  
此の山の中  
三つとて  
一とて  
二とて  
三とて  
四とて  
五とて  
六とて  
七とて  
八とて  
九とて  
十とて  
十一とて  
十二とて  
十三とて  
十四とて  
十五とて  
十六とて  
十七とて  
十八とて  
十九とて  
二十とて

揚務大内



水口

石の三丁

田川



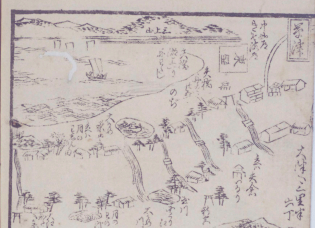
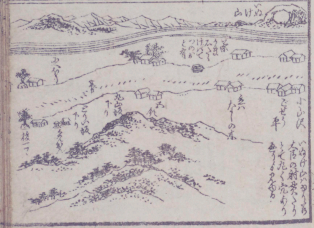
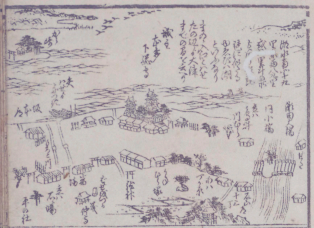
石部

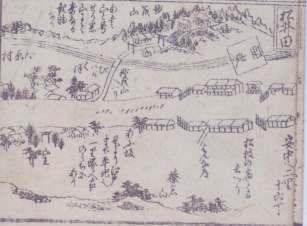
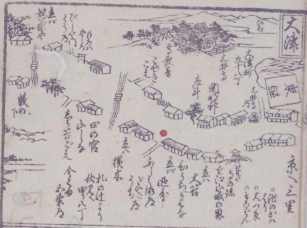
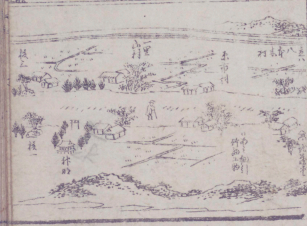
二里半  
寺

石部

二里半  
八丁







本坂鐵之道

見附 かえり  
三里 本二百午又  
牝百六十五

加やん 乳突  
四里 本二百午又  
牝百六十五

本樹乃の中あり

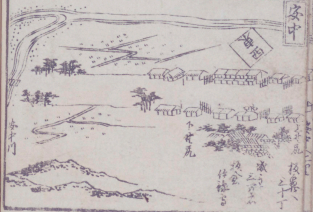
乳突 二里  
本二百午又  
牝百六十五

河内新のり性茶女切手鼓

本樹乃の中あり  
本二百午又  
牝百六十五

二日市をくり山たあり

安中



湯油

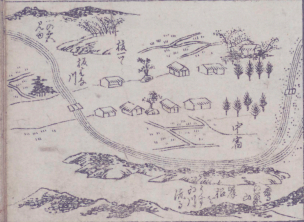
是より本樹乃の中あり

二日市 吹浪也  
二里半 本二百午又  
牝百六十五

以り山たあり

吹浪山 湯油  
四里 本二百午又  
牝百六十五

是より平地あり湯油のまへ道  
かけまきの物。



東海道上の中仙道記

宮

名古屋、  
本里中

本六十七又  
村四十四又  
人三十四又

熱田大明神の社大や一ありあり  
社於七百七十五

名古屋

一里中

本七十八又  
村六十二又  
人三十九又

本現琵琶橋の太橋也  
六十八里小一、二十二里

清洲

本里中

本六十五又  
村四十五又  
人三十五又

町屋茶やう多き種也

圓府社あり七曲り稲葉橋

稲葉

本里中

本六十五又  
村四十五又  
人二十又

本稲葉橋本又村名橋村中  
橋の本端作

萩原

本里中

本四十五又  
村廿七又  
人二十又

本本村又橋廿二名而萩原

尾城

本里中

本百十二又  
村七十八又  
人六十八又

板倉

河田



本二里  
本下

本二里  
本一  
本一



本二里

本二里

尾越川本宿所の下なり堂乃  
大川なり舟に乗り畷川を此  
中より大川あり舟に乗り

側股 文徳、  
二里半丁

舟 八十二文  
舟 六十六文  
人 四十二文

磯村小兼照文徳のふあり  
こころ

大畑 嵩井  
二里半

舟 百文  
舟 六十九文  
人 四十九文

十文

磯白 戸田兼次

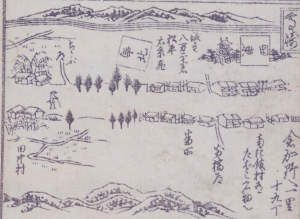
之世門兼次能長能物又乃

松ありわ川南宮山月の中  
とりのふあり

嵩井

尾より舟に乗り本宿所の舟に  
乗りしれ略々

金加所



金加所二里  
十九丁

舟に乗り舟に  
大森と名物

舟

舟

田村



山

舟

舟に乗り舟に  
大森と名物

舟

舟

佐倉町ノ志

官 若狭管  
二里

村 八十六又  
社 六十七又  
人 四十七又

うらふ橋 舟橋り村 大津門橋  
ありうらふ橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村

若狭管 若狭管  
二里

舟 二十二又  
社 十六又  
人 十二又

万福門 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村

万福 冠守ノ

舟 六十九又  
社 四十六又  
人 三十五又

下柳子村 舟橋り村 下田川  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村

冠守 佐倉ノ

舟 六十九又  
社 四十六又  
人 三十五又

舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村

佐倉 舟橋り村

舟 十七又

舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村  
舟橋り村 舟橋り村 舟橋り村

新町ノ志

舟 二里

舟 二里

舟 二里





田代村 田子八家 六百八十七文  
 八人、同共八家 八百十文  
 六人、同子八家 九百二十文  
 桑名村 同子八家  
 桑名村 同子八家

二人 同子八家 四百廿七文  
 一人 同子八家 六百七十七文  
 四人 同子八家 七百十八文  
 六人 同子八家 九百廿九文  
 六人 同子八家 千五百七十七文

名古屋 本宿 伏見 へ  
 へ道

名古屋 小牧 本宿 百廿七文

小牧 一里 本宿 百廿七文

額田 一里 本宿 百廿七文

額田 一里 本宿 百廿七文

世作所 二里 本宿 百廿七文

伏見 一里 本宿 百廿七文

伏見 一里 本宿 百廿七文

新町



日大野、ゆり

石古屋 二里

本百七十八

梶川 一里半

本百六十二

坂下 一里半

本百六十二

内津 一里半

本百六十二

池田 二里

本百七十六

高山 二里

本百八十二

長波 二里

本百八十二

谷戸 二里

本百六十二

大井 二里

本百六十二

伊勢参官道

田市 二里半

本百七十二

神戶 一里半

本百六十二

一里半 本百六十二

本庄



安山車中橋田に茶居城の所也  
以不とく上野之道及ありは程  
本里守なりと

白子 上野、  
一里守 本 六十四又  
註 四十二又

寺菰村を教者堂あり以寺内  
に不別橋とて名来は此廻りく  
後物のゆくとありて流石也此

上野 津、  
二里守 本 七十二又  
註 四十九又

比呂一舟田より上向家乃寺也  
ゆへへ大町ゆへへ一日うれり  
古の寺に兼拜光あり流石也

津 中津、  
二里 本 七十六又  
註 六十六又

三十二分二子石

識巨 菰堂和弟也

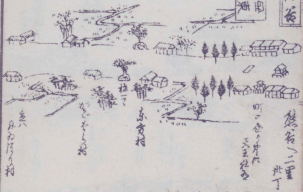
津の町七十町余あり

雲津 松坂、  
二里 本 七十六又  
註 六十六又

愛海川を橋ありは橋と舟渡り  
多うた伊実の亦川内なり向り  
川筋も橋と本あり是より左の  
の末より右のりりなり菰丸に  
きうひとてなり橋ありといふ  
橋とれなり伊実のこちあり  
今村六新茶や月茶は所なり  
伊実城のたわり大橋

松坂 小松、  
四里 本 百六十六又  
註 百八又

津



松坂、二里  
此下

町一合二片六  
三五粒也

本 六十六又

舟のりり

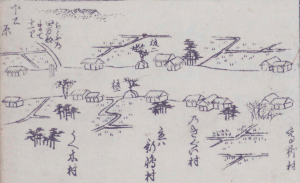
舟のりり

舟のりり

舟のりり

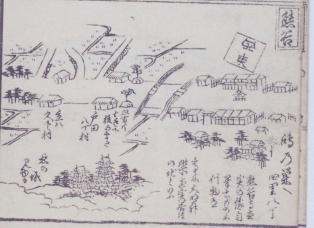
舟のりり

舟のりり



松坂

右の城あり、紀州の行持あり、右乃  
 方町に田あり、仍ちあり、藤田村  
 茶やあり、六智が茶を賣、藤田  
 川橋あり、余支村む、中里の  
 右村支、舟一有り、住、あむじ  
 ごころなり、田村九宮、今、今  
 又、中里、左の方、大よとの  
 松とく、右本あり、殿早茶屋  
 又、新茶やとの、ああり、この邊  
 の茶を、め、この、ゆ、右乃方  
 乃、大、仲、山、せ、の、あり、か  
 の、指



終乃、葉、  
 四里八丁  
 日蓮宗  
 寺の法自  
 茶とあり、  
 付物あり  
 寺、山、大、の、件  
 日蓮宗、大、の、居、  
 の、北、と、り、

社あり、  
 茶賣の人、俗、流、一、方、を、傳、む、  
 あり、是、より、寺、宮、の、入、口、の、山、門、  
 廿九丁

山田

中、阿、赤、町、乃、入、口、に、為、後、焼、あり、  
 茶、や、あり、右、の、方、並、本、の、松、あり、  
 是、京、町、通、の、乃、なり、 境、世、古  
 大、間、廣、上、の、乃、町、大、社、と、く、  
 表、わ、り、仍、ち、中、の、心、と、い、ふ、町  
 あり、八、日、市、場、一、志、六、五、丁  
 此、町、山、田、と、い、ふ、町、あり、右  
 の、方、月、儀、の、寺、あり、上、飯、中  
 飯、下、乃、乃、町、の、寺、經、橋、乃、を、入、



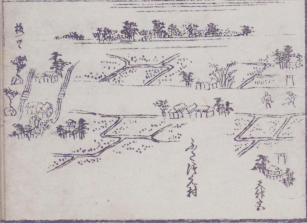
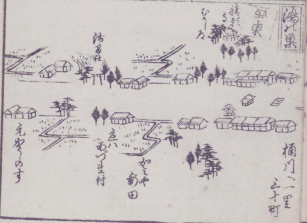
終乃、葉、  
 四里八丁  
 日蓮宗  
 寺の法自  
 茶とあり、  
 付物あり  
 寺、山、大、の、件  
 日蓮宗、大、の、居、  
 の、北、と、り、

芥文の小津門ふ西のり九本  
 丈の道は小津門と一の香居と二  
 尺のり一の香居より芥文のり  
 芥文といわぬのり八町あり  
 のりあつて使よき友は多く  
 八小津門よりま絡するなり

外宮

小津の橋は橋のあつて下へまどり  
 あり是より兵具伝をて第一  
 へり身と持は津のり香居と香  
 々香田のり香介法社と持  
 々々介文法社法社持  
 々々々々 四十書社 出居へ  
 坂乃九丁あり 寺天宗志寺乃

橋はわい 是より内宮へ六十町  
 あり是より香田のり六高文  
 唐へ七一丈高のり香田  
 小田のり一妙身寺左のり香  
 傍のり香のり山波のり香明  
 寺あり 古市磯丁 是より香  
 法教あり町のり左より朝徳岳  
 のり道あり丹比菟町左乃香  
 昔菟とといふるあり 丹比  
 浦田 丹のり村 香田 今五家  
 大なり 西の方、林傍文庫有  
 橋根社や法橋長サ六十間  
 六法門より林結ゆりし概



内宮

一二三小寺居門を經て赤本社  
 と稱し舟より八十志社 傳  
 尾の持西六十門乃高年所り  
 内宮系路終りて此は林より  
 宇治橋不出下向正へ朝慈  
 密小幡人八山の林の居り方  
 の山崎より付て消る

朝慈藏

宇治の味を宇田なり 山崎  
 傳著の全別院とていふ處を  
 卷の天姥より本堂のまへに  
 連珠の池を巻の茶より富士  
 山又了の味の茶やも寺朝慈村

わさし 藤まきとて千六丁朝慈村  
 といふ足は乃たわうと千丁年又  
 朝慈村といふ田との名はは既  
 左の山田といふ名は乃たなり 藤  
 村の此れとて朝慈社なり朝慈  
 村より二町浦小むとて是より  
 六丁守田なり 楠於村より古  
 市橋不出るなり

二見七浦

二見七浦 二見七浦

川崎 志えお 山田系 山崎  
 陸辰と傳村が山田傳勢之舟の  
 四郎よりと名を山田頂は一木の  
 松有る石のまへに山なり  
 是石流以てして事五人伝説し  
 舟と傳り由表傳り流といふ

捕門





関

是より南へ遠かり

左の方にお安松といふ産あり  
昔ハ掛かけたといふこととを  
むくり村なるゆゑと行はせよ  
所とて一里のせりなる海山の  
敵と云ふはむくり村の関に二里

窪田 関一里 村 百丁  
又

舟長ありて



伊雜宮 山田

山田より、妻乃まで津をせりて  
の左とせりける侍より宿次左乃  
と云ふ

津 窪田 一里 庄 百丁

侍の町は川と川とわたり  
二十百舟中とせし門槍百番



六丁

大津の大河道

大津 伏見  
四里半

本 百七十五文  
飛 百十五文  
人 八十四文

船供の村の物産物茶 大森山  
若山 越中 津茶 右の方  
乃の 敷 茶 備 持 本町  
茶 植

伏見 渡  
半丁

本 六十三文  
飛 六十六文  
人 二十六文

毛より大坂と出た 渡 港  
又 橋 百廿五 小橋 半 百 香 洞 樹  
乃の 乃の 乃の 乃の

渡 渡方  
三里半

本 百六十一文  
飛 九十六文

人 七十三文

橋 本を里山 乃の 乃の  
乃の 乃の 乃の 乃の

渡方 大坂  
六里

本 二百六十一文  
飛 百七十五文  
人 百六十六文

佐六村 乃の 乃の 乃の 乃の  
乃の 乃の 乃の 乃の  
乃の 乃の 乃の 乃の  
乃の 乃の 乃の 乃の

大宮

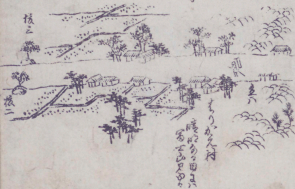
西 東



浦和 一里  
十町  
乃の 乃の

武州 一里  
乃の 乃の  
乃の 乃の  
乃の 乃の  
乃の 乃の

大 六  
乃の 乃の  
乃の 乃の



乃の 乃の  
乃の 乃の  
乃の 乃の

大 二

大 二



箱根七湯 早より湯を引

湯めぐりす人あり一尾に依り  
下りかけの免ふりとあるは

釜の湯 初より水す  
釜の湯 釜の湯 釜の湯

底倉 大の上  
底倉 二丁

菅原 塔の四  
菅原 一丁

湯本 上枝橋  
湯本 六丁

橋のつぎは本橋及あり

大分桑名と酒造七里

船賃附

桑名を合 四十六文

むらり一板 貳百七十五文 六人合

若松物置若 四十五文 一人合

杖藜一扇 四十五文 日

奥区一扇 四十五文 日

白船符一扇 四十五文 日

赤下一板 六十文

女子藝妓長 百九文

女子藝妓長 百九文

のり物一丁 八人合 八人合 八人合

長柄一持 八人合 八人合 八人合

藤

東

板橋二丁八丁

先づか

村

戸田村

戸田村

志村

志村



湯のつぎは本橋及あり

湯のつぎは本橋及あり



清水文 二百八十五文

大入水一被 二百八十五文

田入水一被 二百八十五文

中入水一被 二百八十五文

付一分一 六百九十五文

日一分一 八百六十五文

日一分二 八百六十五文

くもの石 六百六十五文

日半分 三百七十五文

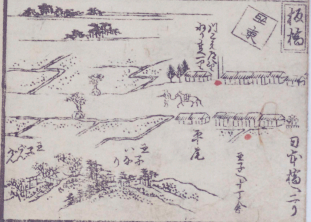
大入水一被 式三百七十五文

中入水一被 式三百七十五文

日一分一 七百二十五文

日一分二 四百六十五文

板橋



二百七十五文

五子  
冬紙

大入水一被

中入水一被

日一分一

日一分二

くもの石

日半分

大入水一被

中入水一被

日一分一

四百八十七文  
四百六十五文  
四百六十五文  
四百六十五文  
七百二十五文  
七百二十五文  
七百二十五文  
七百二十五文  
七百二十五文  
六百二十五文

風雲松竹海とものより中々とを工  
佐や(こ)くへ



森  
森

田日市ノ志ニ渡海十里

弘俣附

本多田日市六部出候  
田日市ノ志ニ渡海十里

粟合考案 六十六文

むらぎ米 四百六文

義興堂米 六十六文

披第一番 六十六文

具良米 六十六文

米米米米 八十六文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

米米米米 百六十七文

本曾路二十九次拾俣附

来 二り 百六十七文 百六十七文 九十九文

大味 拾俣 百六十七文 百六十七文 九十九文

茶津 百六十七文 百六十七文 九十九文

将 百六十七文 百六十七文 九十九文

武佐 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

米米米米 百六十七文 百六十七文 九十九文

新ノ端ニ依候 四十二文

器物廿二文

三人水

おりの石

おりの石

おりの石

田人水

おりの石

おりの石

おりの石

六人水

おりの石

おりの石

おりの石

六人水

おりの石

二袋六百廿六文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文

六百八十五文



東海道五十二ヶ所諸侯附

日暮藩	本馬	千七百七十五文	千六百六十五文
名門	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文
河津	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文
津南	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文
津北	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文
戸塚	百七十五文	七百七十五文	六百七十五文
濱	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文
本塚	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文
大塚	百五十五文	八百八十五文	六百七十五文

長保	千六百九十五文	四百六十五文	千四百六十五文
中田	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
大田	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
津南	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
津北	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
戸塚	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
濱	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
本塚	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文
大塚	千四百六十五文	六百六十五文	千四百六十五文

ありのる  
せうのる  
もりのる  
千九百七十五文  
千六百七十五文  
八百八十五文

御定新物貫目

一 駄荷 三拾六貫目  
 乗掛下 十貫目より十八貫目まで  
 輕尾の御村 六貫目より六貫目まで  
 人足荷 六貫目

妻籠	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
三の	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
野尻	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
津南	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
津北	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
戸塚	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
濱	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
本塚	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
大塚	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文
和田	千九百八十五文	六百六十五文	千四百八十五文



淡松	舞坂	新居	白旗	二河	若田	赤坂	高油	若川	長湯
百五文	百十文	百十文	八十文	百十文	百十文	百十文	百十文	百廿文	百廿文
存六文	四十七文	七十七文	六十五文	七十五文	九十五文	百六文	十九文	七十七文	百七文
七十文	十八文	十八文	四十文	六十文	六十八文	七十七文	十四文	存六文	百七文

十日廿日 八ノ夜 五ノ  
 十一日廿日 八ノ夜 五ノ  
 十二日廿日 八ノ夜 五ノ  
 十三日廿日 七ノ夜 四ノ  
 十四日廿日 七ノ夜 四ノ  
 十五日廿日 七ノ夜 四ノ  
 十六日廿日 六ノ夜 三ノ  
 十七日廿日 六ノ夜 三ノ  
 十八日廿日 六ノ夜 三ノ  
 十九日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十一日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十二日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十三日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十四日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十五日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十六日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十七日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十八日廿日 六ノ夜 三ノ  
 二十九日廿日 六ノ夜 三ノ  
 三十日廿日 六ノ夜 三ノ

淡新	鳴海	文	桑名	冒市	不器	赤地	鬼山	関	坂中
百空文	八十文	八十文	百十文	百十文	百十文	百十文	八十文	百十文	百十文
百二十文	八十文	八十文	百十文	百十文	百十文	百十文	八十文	百十文	百十文
七十文	八十文	八十文	百十文	百十文	百十文	百十文	八十文	百十文	百十文

不成就  
 正七月八 二日 十一日 十九日 廿七日  
 二八月八 二日 十日 十八日 廿六日  
 三九月八 朔日 九日 十七日 廿五日  
 四十月八 朔日 十日 十八日 廿六日  
 五十一月八 朔日 十日 十八日 廿六日  
 六十二月八 朔日 十日 十八日 廿六日

鬼宿日 大右田ナリ

正月十一日 二月九日 三月七日  
 四月五日 五月三日 六月一日  
 七月廿五日 八月廿二日 九月廿日  
 十月十八日 十一月十六日 十二月十三日

昭和二年七月一日

田之先見



茨城縣行方郡

現原村捻木

中  
三月十日

田之先見

七山 上丁 百六十五文 百六十五文 七十五文

水口 上丁 百六十五文 百六十五文 八十五文

石形 上丁 百六十五文 百六十五文 八十五文

茶澤 上丁 百六十五文 百六十五文 百六十五文

大津 上丁 百六十五文 百六十五文 百六十五文

京都 里数 百廿四里半

本馬 上丁 八廿六十五文 八廿六十五文

板尻 上丁 八廿六十五文 八廿六十五文

人足 上丁 八廿六十五文 八廿六十五文

文化町丁印務課付政心

前此書七人画

東海道名所一覽 彩色 全一校

水曾路名所一覽 同 全一校

此書は東海の名所を彩色で描き、  
一校ずつに描き、一校ずつに描き、  
一校ずつに描き、一校ずつに描き、

増補日本地名便覧 横水全一冊

此書は、東海の名所を彩色で描き、  
一校ずつに描き、一校ずつに描き、  
一校ずつに描き、一校ずつに描き、

天保十二年寅寅月吉日

田本橋南堂町目

須原屋藏去清藏



